

ツクコーティング

八東化成が新技術

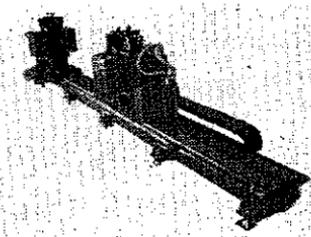
【社】大東化成（堺市美原区、大山一彦社長、072・369・7851）は、滑りやすく、耐摩耗性の高いセラミックコーティング技術を開発した。滑りの良さは常なる。セラミックコーティングの約2倍で耐摩耗性は約4倍。加工費は同じ膜厚でフッ素コーティングの1.5倍程度になる。熱に強いことから、食品機械、調理具、金型などで使われる。同社は2013年11月期末までに新技術の売上高1億円を目指す。

「ストの軽減にもつながら、金型に用いられは高い。差型性が得られ、溶融温度が高く、自己接着性のある樹脂の成形も容易になる。高い耐熱性が求められる、従来のセラミックコーティングでは滑り性能が足りなかった製品向けの表面処理技術として提案する。」

パイプ組み立て装置拡販

プラスチック設計管製作を自動化
テックノ

【北九州】プラスチック 3・644・6226
テックノ（北九州市八幡西区）は、5年後をめどに「パイプ組み立て装置」を自動化する。造船や化学プラント



などで使用する「設計管（仕上管）」を自動製作する装置で、これまでは作業者が手作業で行っていた。設計管製作を自動化したことで、「ニッチな製品だが世界中で需要がある」（能美社長）と判断した。

パイプ組み立て装置は、図面情報からフランジ（つば）間の位置関係を計算する。フランジを取り付け、パイプを搭載した後、パイプとフランジを溶接して設計管を完成させる。

従来は接続する箇所をフランジと鋼材、ボルトを用いて手作業で制作していた。しかし寸法や精度が乱れることがあった。自動化したことで作業時間短縮と、品質の安定を可能にした。

自分の寝息で頭部を保湿



新しい睡眠スリッパ
一。二印刷大阪晴一社長、06・020）は、呼吸に保湿・保湿する特性ドームII写真「ある寒い日、